私の提言 今後の新たな活動に向けて

理事 尾崎 理恵

活動をパワフルにするために

「江戸城天守再建という一つのテーマにおいて集い、継続的に活動するということはとても素晴らしいと共感し、参加してから早一年が経過しました。具体的な貢献はまだできていませんが、来期に向け更にパワフルなチームになってビジョンを実現させるには、どのような視点で活動すればよいのか、人材という視点で想いをシェアさせていただきます。

多様・多彩な人材の参加を促す

まず、我々の最終的な目標は江戸城天守再建ではありますが、それを目標に掲げながらも日本のお城、江戸の文化、歴史などテーマの範囲を広げて、多様な価値観や感性をもった方々に幅広くリーチすることが必要です。そうすることにより、純粋なお城ファンのみならず戦国武士や刀好きな女性、歴史好きの方々、若年層もエンロールすることができるからです。

既存概念に囚われぬ新たなリーダーも必要

しかしながら、そのためには彼らを魅了するコンテンツやサービスの創出が必要です。その付加価値をつくりだすためには、NPO法人の継続的な経営という意味でも既存概念に囚われず、ユニークなアイデアとエネルギーを持ち合わせた人材が必須です。ユーグレナが、CFO（Chief Future Officer）として一八歳以下の人材を採用しているのはご存知かと思いますが、新たな活動のリーダーとしてZ世代も対象になるでしょう。

理事・支部長・会員相互の交流の活性化を図る

また、理事会メンバーのみならず、支部長や一般の会員、及びお城ファンの方々とのコミュニケーション方法を工夫、バージョンアップすることで、より熱気に溢れた会になると想像しています。例えば、チームごとに分かれて定期的な問題解決セッションをしたり、より多くの会員の方々とZoomでつながってアイデア出しをしたり、インスタやTikTokで世界中に我々のやっていることを発信したり、身近に出来るところから新しい動きをはじめてみると新しい風は必ず吹くはずです。目標達成のために何をどう変えていくのかについて真剣に取り組み、この激動の時代を最高のチャンスに変えてみたいところです。

尾崎理事の提言を受けて会員の皆様も積極的にご提案、ご提言を事務局へお寄せください。

令和四年度総会のお知らせ

令和四年度の総会が以下の日程で開催されます。

日時 令和五年三月一一日（土）午後一時～五時

会場 全水道会館

主な議題

1 令和四年度事業報告

●事業報告

▼主な事業成果▼会員組織拡大▼支部ブロック編成▼広報（かわら版／HP／SNS等）江戸城散策／イベント（オンライン講演会／地域イベント）▼世論喚起活動（請願署名／名城ツアー／御城印／大手門前チラシ配布）

●令和四年度決算報事業計画

2 令和五年度事業報告

●令和五年度事業計画

●令和五年度予算案

総会は正会員によって議決が行われますが、今年もズーム参加も併用して開催します。事務局から総会案内状が届きましたら出欠の有無、欠席の場合の委任状の提出をお忘れなくご提出ください。

（事務長・浅井純一）

地域イベントに参加や寄席も開催

神田古本まつりで挨拶する小池知事

神田古本まつりで請願署名活動（9.28）

お城EXPO（12.17）当会ブース

岩本町・東神田ファミリーバザール（11.26）

江戸城寄席 一龍斎貞花師匠（9.28）

特別寄稿 夢のある天守再建運動に私も参加します

岩渕美智子

新会員・いしかわ観光特使

▼観光立国日本を！

「日本のGDPの世界シェアはピーク時の一九九四年には一八％だったが、二〇二一年には五％に減少へ。同時期、中国のGDPシェアは二％だったが一八％に成長した。日本は世界第三位の経済大国、などと言っていられる状況にはない」とは評論家の寺島実郎氏の警鐘です。その通りで肌寒く思います。政府は色々な産業政策を打ち出すべきです！

その一つが「観光立国日本の実現」ではないでしょうか？

心強いのは、政策投資銀行と日本交通公社がアジア・欧米豪の人達に「今後、海外旅行したい国は？」と調査したところ（二〇二〇年）、日本が一位で選ばれたことです。

▼お城と私①青葉城恋歌

私は浅野史郎宮城県知事（当時）の特別任命で、宮城県庁に勤務した経験があります。NPOと行政の協働を進めるのが一つの仕事でした。ところが当時県庁ではまだ「NPOって何？」という感じで大分苦労しました。

青葉城址の脇櫓（仙台市）

そんな赴任して間もない頃、「青葉城恋歌で有名な青葉城に行って気分転換しよう」と張り切って向かいました。ところがお城はなく、そこは「青葉城址（跡）」でした！歌に騙され（？）、勉強不足の自分を恥じた次第です。

城址は標高約一三〇mにあり、市街を一望できて絶景。石垣と小ぶりの脇櫓が再建されており、伊達政宗公騎馬像もあって、往時を偲びました。

▼お城と私②青葉城脇櫓

青葉城脇櫓は民間人が復元したと知りビックリ。以下『仙台市史続編第二巻』から部分引用です。

「昭和三五年頃、仙台市民生委員の野口増蔵氏が大手門と隅櫓の復元を日指し一般に呼びかけたが、大金なので、とりあえず隅櫓を復元。野口自身棟梁だったので私財を投げ打ち、乏しい資金に苦しみながらも工事を進め、昭和四二年に完成。仙台市に寄付された」。

ただ諸説もあるようで、検証は必要かもしれません～～。

▼お城と私③金沢城

私の祖父母は石川県出身で、先祖が加賀藩前田家とゆかりがあるため、石川県観光特使を務めています。今年の六月、金沢百万石まつりに参加し、金沢城にも行き、その重厚さに感激しました！

石川県は金沢城の再建を平成に入り着々と進めています。第一期工事で菱櫓、橋爪門、橋爪門続櫓、五十間長屋など。第二期で河北門、いもり堀、玉泉院丸庭園など。第三期で鼠多門、鼠多門橋など次々と復元してきました。現在はいよいよ城の中枢である二の丸御殿の復元整備に取組んでいます。

県の成長戦略に城の復元をカチッと設定し、推進する姿は頼もしい限りです。北陸新幹線開通もあり、石川県の観光産業は実際、大きく伸びています。

金沢城（金沢市）

▼お城と私④江戸城

江戸城の天守台は加賀藩前田家が築いた、と聞きました。ちょっと調べてみると、「現在残る天守台（天守閣の石垣）は、明暦の大火で喪失。その再建を加賀藩五代の前田綱紀が担った」「徳川が諸大名の力を削ぐために金を使わせる所謂、天下普請だった」とのこと。徳川家と前田家で様々な駆け引きがあったのでしょう。自分が関係する江戸と加賀の結びつきにワクワクします。

▼入会して署名活動に参加

入会直後に署名活動のお誘いを受け、神保町の古本まつり、神田カレーグランプリ、岩本町ファミリーバザールなど、短時間でしたが手伝わせて頂きました。

「署名をお願いします！」と声掛けし、何人かは応じて下さり、皆さん「いつ実現するの？」とニコニコ顔。夢のある事業に取り組んでいる、と嬉しく思いました。

会員に女性が増えるといいですね。巷では歴史に強い「歴女」が増えていまです。女優の杏さんが代表格で、歴史上の人物名をよく知っています。そういう著名人が協力してくれると心強いかもしれません。会員増加策を、皆さんと一緒に考えていければと思います。

お城の復元は、宮城県でも石川県でも着実に進んでいます。実現可能なそしてロマンのある事業として、私も江戸城天守再建に取り組んでいければ幸いです。

（写真出典、仙台市、石川県観光連盟）

筆者略歴】
岩渕美智子（いわぶちみちこ）
青山学院大卒、ジョージタウン大学大学院卒（ワシントンDC）。ブルッキングス研究所客員研究員（同）、東洋大学助教授、宮城県環境生活部次長、都立大学（OU）講師などを務め現在、言論NPO副理事、国際医療福祉大人材育成機構顧問、ルーマニア商工会議所理事など。